

“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿 8 耐コンセプトバイクを 1/24 スケールで完全再現！ 3 カラーで展開！

コカ・コーラとミニチュアバイクのセットを限定販売

鈴鹿 8 耐クロニクルも同梱 7月17日(火)～ 数量限定

株式会社 サークルKサンクス

株式会社サークルKサンクス(本部:東京都中央区、代表取締役社長:中村 元彦)は、2007年で第30回を迎えるバイクレース・“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース(鈴鹿 8 耐)開催に際し、本田技研工業株式会社、鈴鹿サーキット(株式会社モビリティランド)監修のもと、「“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿 8 耐 Premium Box」(680円・税込)を、全国の「サークルK」「サンクス」6,251店舗(2007年5月末現在)にて、2007年7月17日(火)より数量限定で販売いたします。

サークルKサンクスでは、これまでも玩具付き飲料として、コカ・コーラベンディングマシン缶、またチョコQのセットなどを販売し、お客様からご好評をいただいております。本セットは、コカ・コーラ1本、ミニチュアバイク1台、クロニクル1冊の計3点をセットにした商品です。

付属のコカ・コーラは、通常のコカ・コーラ 500mlペット、コカ・コーラ ゼロ 500mlペット、ノーカロリー コカ・コーラ 500mlペットの3種です。

鈴鹿 8 耐のコンセプトバイクとして大会を盛り上げる「ホンダ CBR1000RR」。本田技研工業・鈴鹿サーキットの監修のもと、1/24スケールにて精巧に再現いたしました。カラーバリエーションは、黒色の「コカ・コーラ ゼロ バージョン」に加え、本プレミアムモデルオリジナルバージョンとして、赤色の「コカ・コーラ バージョン」、銀色の「ノーカロリー コカ・コーラ バージョン」の全3種にて展開します。材質は、タンク・シート部、後部席部にダイキャストを使用することで、重厚感を演出。質感にこだわり、ミニチュアとは思えない仕上がりとなりました。サイズも、一般的なミニチュアバイク商品(1/32スケール)に比べ約33%のスケールアップを実現し、よりリアリティを感じていただくことができます。

オリジナルクロニクルは、1978年の第1回から10年ごとに鈴鹿 8 耐の歴史をまとめた全3種類。24ページに渡って、本年の鈴鹿 8 耐の概要やみどころ、観戦マップのほか、歴代レースや大会のデータを網羅いたしました。

サークルKサンクスでは今後とも、さまざまな企業とのコラボレーションを通じて、各種イベントの振興を推進してまいります。



“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿 8 耐 Premium Box



1/24 スケール
鈴鹿 8 耐コンセプトバイク
ホンダ CBR1000RR
コカ・コーラゼロバージョン

＜商品概要＞

- 商品名 『“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿 8 耐プレミアムボックス』
- 価格 680 円（税込）
- セット内容 □500ml ペットボトル 1 本
（①コカ・コーラ ゼロ、②コカ・コーラ、③ノーカロリーコカ・コーラの 3 種いずれか）
+
□1/24 ミニチュアバイク 1 台（①黒色・②赤色・③銀色の 3 種いずれか）
+
□鈴鹿 8 耐クロニクル「Suzuka 8hours CHRONICLE」1 冊
（①vol.1 ②vol.2 ③vol.3 の 3 種いずれか）
- 発売日 2007 年 7 月 17 日（火）～ 数量限定販売
- 販売地域 全国のサークルKサンクス 6,251 店舗
（サークルK 3,011 店舗、サンクス 3,240 店舗 ※2007 年 5 月末現在）



①1/24 スケール 鈴鹿8耐コンセプトバイク ホンダ CBR1000RR コカ・コーラゼロバージョン



②コカ・コーラ バージョン



③ノーカロリー コカ・コーラ バージョン

＜鈴鹿 8 耐クロニクルについて＞

鈴鹿 8 耐の熱い戦いの歴史が分かるオリジナルの解説書です。

- vol.1 1978-1987 歴代優勝ライダー紹介 ホンダ 2006 年参戦バイク紹介①
歴代ポールポジションタイムデータ 最多ポールポジション獲得回数データ
- vol.2 1988-1997 歴代優勝ライダー紹介 ホンダ 2006 年参戦バイク紹介②
歴代決勝周回数データ 歴代ポールポジションライダーデータ
- vol.3 1998-2006 歴代優勝ライダー紹介 ホンダ 2006 年参戦バイク紹介③
最多優勝回数ライダー紹介 最年少&最年長優勝ライダー紹介

■共通項目 2007 “コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿 8 耐公式日程、レーストピックス、みどころ、観戦マップ など

＜鈴鹿 8 耐とは＞

1978 年から三重県鈴鹿サーキットで開催されている、8 時間耐久レース。1 台のマシンを、2 または 3 人のライダーが乗り継ぎ、8 時間でどれだけ長い距離を走破したかを競う耐久レースです。1980 年からは世界耐久選手権シリーズの 1 戦として組み込まれた本レースは、国内有数の集客を誇るモータースポーツイベントとしてロードレース界における夏の風物詩に数えられています。

「8 耐」の愛称のもと、世界選手権の 1 戦でありながら、鈴鹿ならではの耐久レースの醍醐味が堪能できる鈴鹿 8 耐は、多くのファンの支持を集めている歴史あるレースといえます。